

TiCN膜—硬質装飾膜

Ti系被膜処理方法の比較

タイゴールド㈱
 IP事業部

処理プロセス	イオンプレーティング法	
	HCD法	AIP法
膜種	Ti TiN TiC TiCN	Ti TiN TiC TiCN TiAlN
膜厚	0.5~5 μ m	0.5~20 μ m
硬度	Hv ~2,000	Hv ~2,000
密着性	40N以上	60N以上
耐熱温度	350°C	350°C
処理温度	150~500°C	50~500°C
表面粗さ	下地の表面粗さに準ずる	HCD法に比べ粗い

イオンプレーティング法の特徴

タイゴールド㈱
IP事業部

1. タイゴールドではイオンプレーティング法として、HCD法及びAIP法の被膜を提供出来ます
2. イオンプレーティング法では母材との密着強度が高い被膜を成膜出来ます
3. イオンプレーティング法は、低温処理(～500℃)が可能のため母材の寸法変化を起こしにくい表面処理方法です
4. イオンプレーティング法は、真空を利用した環境に優しい成膜システムです

TiCN硬質被膜の特徴

タイゴールド㈱
IP事業部

1. TiCN膜は、硬く(～Hv2,000)耐摩耗性、耐スクラッチ性に優れています
2. TiCN膜は、母材との密着強度(40N以上)の高い被膜です
3. TiCN膜は、塩水環境で高い耐食性を示します
4. TiCN膜は、濡れ角が低いので表面のクリーニングが容易に出来ます
5. TiCN膜は、装飾性被膜に最適です

TiCN膜応用例

タイゴールド㈱
IP事業部



ホログラム加工ロゴプレートへの装飾

受託加工が可能な応用例

タイゴールド㈱
 IP事業部

応用分野	応用例
レジャー関連	パチンコ台筐体 スロット台筐体 キャンピング用品 ゴルフ用品 釣具部品
IT関連	携帯電話筐体 デジタルカメラ筐体 ゲーム機筐体 パソコン部品 時計部品
その他	理容・美容機器 健康器具